

立命館アカデミックセンター 受講申込書

申込受付期間 1次募集:6月4日(火)10:00~6月11日(火) お申込み多数の場合は抽選となります
2次募集:定員に達していない場合のみ受講日の2日前まで受付可

定員各回 100名

フリガナ		受講者ID(お持ちの方)			
氏名		0			
ご住所 〒		性別 男 ・ 女		年齢 歳	
		生年月日(西暦) 年 月 日			
TEL(自宅)		FAX			
TEL(携帯)		E-mail			

▼希望する受講日該当欄に☒印をつけて下さい。※FAXでお申込みの際はこの面を送信してください。 ☎06-6360-4894

講座名	1回受講料		受講日
01 女帝の古代史 ▶P1 -7・8世紀の特質-	1,700 円	☐ 全3回一括	☐ 第4回 7月19日(金) ☐ 第5回 8月23日(金) ☐ 第6回 9月20日(金)
02 始皇帝と秦帝国 ▶P2 -“キングダム”の真実-	1,700 円	☐ 全3回一括	☐ 第1回 7月22日(月) ☐ 第2回 8月5日(月) ☐ 第3回 9月2日(月)
03 『論語』を読もう ▶P2 -古典の知恵に学ぶ-	1,700 円	☐ 全3回一括	☐ 第4回 7月25日(木) ☐ 第5回 8月22日(木) ☐ 第6回 9月26日(木)
04 復活する日本の ▶P2 手仕事に必要なこと	1,700 円	—	☐ 8月30日(金)
05 大阪のうまいもん ▶P3	1,700 円	☐ 全3回一括	☐ 第1回 7月5日(金) ☐ 第2回 8月2日(金) ☐ 第3回 9月13日(金)
06 子育てがわかる ▶P4 心理学	1,700 円 (第1回無料)	☐ 全4回一括	☐ 第1回(無料) 7月12日(金) ☐ 第2回 8月29日(木) ☐ 第3回 9月24日(火) ☐ 第4回 10月16日(水)
07 令和ニッポンを ▶P5 生きる	1,700 円	☐ 全3回一括	☐ 第1回 7月10日(水) ☐ 第2回 8月1日(木) ☐ 第3回 9月12日(木)

会 場

立命館大阪梅田キャンパス (大阪富国生命ビル5階)

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4

アクセス Osaka Metro 谷町線 東梅田駅 徒歩1分 / Osaka Metro 御堂筋線 梅田駅 徒歩3分
阪神 梅田駅 徒歩3分 / JR 大阪駅 徒歩5分 / 阪急 梅田駅 徒歩5分

【お問合せ・お申込み先】

立命館アカデミックセンター事務局(大阪富国生命ビル14階)

http://www.ritsumei.ac.jp/acr/

TEL:06-6360-4804 (窓口時間/月~金10:00~17:00)

FAX:06-6360-4894 E-mail:acr02@st.ritsumeikan.ac.jp

※お電話・メールでのお申込みはできません。



立命館アカデミックセンター

おとなの 学び舎

COURSE GUIDE 2019 SUMMER

CR
academic center of
RITSUMEIKAN

2019
夏号
総合案内



R
RITSUMEIKAN
UNIVERSITY

今年の夏はご友人と共に
「おとなの学び舎」で学びませんか？
ご友人紹介キャンペーン
詳しくは5ページをご覧ください。

立命館アカデミックセンター※は、こどもから社会人までを対象に、
これまでの教育機関の枠にとらわれない
立命館ならではの「学び場」を提供しています。

その中でも「おとなの学び舎」は、
さまざまな学びを深く楽しく体験したい皆様のための開かれた講座です。
3ヵ月を1期として1年間計4期で開講します。

夏期は立命館大阪梅田キャンパスで7講座を開講いたします。

知的興奮に満ちた新学期が、あなたのお越しをお待ちしています。

※ACR:academic center of RITSUMEIKAN



木津川計講座
秋期・冬期開講予定、
乞うご期待!

概要・申込は秋期／冬期総合案内に掲載します。



■ 春期・夏期 各3回／全6回

ご友人紹介キャンペーン 対象講座 ▶P5

01 女帝の古代史ー7・8世紀の特質ー

講師 本郷 真紹 立命館大学 文学部教授

古代の7・8世紀は、6人8代に及び女性の天皇が君臨した、まさに女帝の時代でした。それぞれの女帝は、即位に至る経緯も、また在位中の姿勢も、各段階の政治情勢や天皇家内部の事情を反映した特色をもちました。本講座では、それぞれの女帝が君臨した歴史的意義について考察を加え、女帝を通じてみた日本古代の政治的特質を追究してみたいと思います。

【講師略歴】大阪市出身。1987年京都大学大学院文学研究科博士課程修了。京都大学博士(文学)。富山大学人文学部助教授、立命館大学文学部助教授を経て、現在同教授。学校法人立命館常務理事、副総長等を歴任、現在理事補佐。専攻は日本古代史・宗教史、特に古代王権と宗教の関係、神仏習合過程を主要な研究テーマとする。

【実施時間】 各回14:00～15:40 ※質疑応答あり

第4回 7月19日(金) 元明天皇 [春期総合案内で告知した日程より変更しております。]

第5回 8月23日(金) 元正天皇

第6回 9月20日(金) 孝謙(称徳)天皇 [春期総合案内で告知した日程より変更しております。]

※本講座は「おとなの学び舎2019春」の続編です。今回初めての方も申し込みできます。



※3回分をインターネットで一括申込される場合の割引価格です。

立命館アカデミックセンター おとなの学び舎

2019年度夏期 申込概要

申込受付期間

1次募集:6月4日(火)10:00～6月11日(火) お申込み多数の場合は抽選となります
2次募集:定員に達していない場合のみ受講日の2日前まで受け付けます

インターネットでのお申込み

立命館アカデミックセンター
ホームページで受付



▶ <http://www.ritsumeai.ac.jp/acr/>



①立命館アカデミックセンターホームページからお申込み下さい。
※お申込み後、自動返信メールが届きます。3営業日を過ぎて自動返信メールが到着しない場合は、裏面お問い合わせ先にご連絡下さい。
※以下の端末からはお申込みできません。docomo(iモード)、au(Ezweb)、SoftBank(3Gケータイ)、Internet Explorer 7以前のブラウザなど。

②[1次募集]お申込み多数の場合は抽選を行います。
抽選結果はお申込みの方全員に6月26日(水)以降にメールにてお知らせいたします。
[2次募集]定員に達していない場合のみ先着順で受け付けいたします。

③お支払はクレジットカード払いのみとなります。
※JCB・VISA・Master Card・American Expressをご使用いただけます。

FAX・郵送でのお申込み

①「受講申込書(裏面申込書)」に必要事項を記入のうえ、FAXでお送りいただくか、ご郵送下さい。※6月11日(火)必着
※お電話・メールでのお申込みはできません。
②[1次募集]お申込み多数の場合は抽選を行います。
抽選結果はお申込みの方全員に6月26日(水)以降に郵送にてお知らせいたします。
[2次募集]定員に達していない場合のみ先着順で受け付けいたします。

③ご当選の方には「受講受付確認書」「郵便払込票」をお送りいたしますので、受講料を納入(郵便払込)願います。
※事務局窓口にて現金で納入することはできません。
※払込手数料は申込者のご負担をお願いいたします。
※事務局より受講料納入確認の通知は行いません。

FAX
送信先

☎ 06-6360-4894

郵便
送信先

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4
大阪富国生命ビル14階
立命館アカデミックセンター事務局

受講の際の配慮を希望する方へ

お体の具合等で受講の際の配慮を希望される場合は、お申込みの際に事務局へお申し出ください。
申し出の内容に関わる情報については、立命館アカデミックセンター事務局および関連部署間で共有します。事前相談も受け付けています。
※なお、いただきましたお申し出すべてにお応えできるものではありません。あらかじめご了承ください。

お申込みにあたっての注意事項

◎お申込み後のキャンセル、払い戻しはお受けできません。
◎代理受講は認めておりません。また欠席講義の他講座への振替はできません。
◎欠席や遅刻に対する返金は一切お受けできません。
◎自然災害や交通機関のトラブルなど不可抗力の事情や講師の病気により、休講や開講日を変更することがあります。
事前に休講もしくは開講日の変更が判明した場合は、お知らせいたします。
その場合の受講料の払い戻し、旅費や宿泊費のキャンセル費用などについては補償できかねます。但し、上記以外の立命館アカデミックセンターの責に帰すべき事由により不開講となった場合は、受講料を返金します。
◎本講座を修了しても、立命館大学並びに大学院の単位認定、また文部科学省並びに他の公式機関が認定する単位及び学位の授与は行われません。
◎講義の録音・録画・画像のコピー、教材の無断複写および配布はお断りいたします。

◎立命館アカデミックセンターでは、「個人情報の保護に関する法律」および「学校法人立命館個人情報保護規程(※)」を遵守し、立命館アカデミックセンターが収集する個人情報は、講座運営や講座分析に関わる業務のみに使用します。また収集する個人情報は、本法律、本規程に則り、漏洩・滅失・毀損等がないように安全に管理します。
※こちらでご確認いただくことができます。
http://www.ritsumeikan-trust.jp/info/privacypolicy/g01_j/
◎立命館アカデミックセンターは、本法律・本規程に定める場合を除き、個人情報を予め本人の同意を得ることなく第三者に提供することはいたしません。
◎立命館アカデミックセンターは、個人情報の取り扱いを含む業務の一部を個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結した上で、次の事業者に委託しています。

委託先

株式会社クレオテック(学校法人立命館100%出資会社)

05 大阪のうまいもん

受講料
1回 1,700 円
【割引】ネット一括申し込み※
4,500 円

実施時間 各回14:00～15:40 ※質疑応答あり

第1回

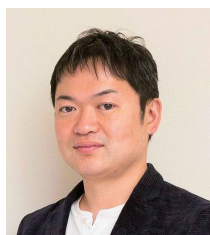
7月5日(金)
コナモンと大阪ー世界も注目の浪速の食文化ー講師
熊谷 真菜
一般社団法人日本コナモン協会会長
和田 有史
立命館大学 食マネジメント学部教授

【講師略歴】

熊谷 真菜
2003年5月7日コナモンの日に日本コナモン協会(<http://konamon.com/>)を設立、「コナモン」という言葉を全国に定着させた。日本はもとより、世界各地での粉もんセミナーは親子からプロの料理人にまで幅広く、これまでの受講者は1万人以上。

和田 有史

静岡県清水市に生まれる。農研機構 食品総合研究所上級研究員等を経て2017年4月より立命館大学教授。博士(心理学)。専門は実験心理学。食をモチーフに多感覚知覚、消費者認知特性、リスクコミュニケーション、官能評価などの研究を行い、人の心のメカニズムの解明とその知見に基づく応用技術の開発を目指している。



第2回

8月2日(金)
大阪ずしの歴史講師
日比野 光敏
愛知淑徳大学 教職・司書・学芸員教育センター教授
南 直人
立命館大学 食マネジメント学部教授

【講師略歴】

日比野 光敏

名古屋大学文学部卒業、名古屋大学大学院文学研究科終了、博士(日本文化)。主な著作:『すしの歴史を訪ねる』(岩波新書、1999年)、『だれも語らなかったすしの世界』(旭屋出版、2016年)、『日本すし紀行 巻かずしと稲荷と助六と』(旭屋出版、2018年)。



南 直人

京都大学文学部卒業、大阪大学大学院文学研究科修了、博士(文学)。主な著作:『〈食〉から読み解くドイツ近代史』(ミネルヴァ書房、2015年)、『世界の食文化⑧ドイツ』(農文協、2003年)、『身体は誰のものか』(昭和堂、2018年)。



第3回

9月13日(金)
江戸から未来へ 大阪の食講師
鎌谷 かおる
立命館大学 食マネジメント学部准教授
野中 朋美
立命館大学 食マネジメント学部准教授

【講師略歴】

鎌谷 かおる

立命館大学食マネジメント学部准教授。博士(日本史学)。専門は、歴史学(日本史)。主な研究は、近世日本の山野河海の生業史。近年は、他分野の研究者とともに共同研究をおこない、歴史学の枠にとらわれず、歴史学の知見を生かした研究に取り組んでいる。



野中 朋美

立命館大学食マネジメント学部准教授。博士(システムエンジニアリング学)。専門は、生産システム工学、サービス工学。生産システム・サービスシステム設計・管理や、食を起点とした地域価値共創など、食とエンジニアリング・AIに関する研究に従事。近年は、持続可能なフードシステムデザイン研究に取り組んでいる。



すしといえば現在ではほとんど江戸発祥の握りずしをイメージしますが、もともとは全国各地域にさまざまな形のすしがありました。大阪ずしもその一つで、バッテラや箱ずしなど現在でも根強い人気を保っています。講義ではすしの歴史を振り返りつつ、その中での大阪ずしの位置や特色について二人の講師の対談の形で探求します。

06 子育てがわかる心理学

受講料
1回 1,700 円
【割引】ネット一括申し込み※
4,500 円

実施時間 各回14:00～15:40 ※質疑応答あり

第1回

7月12日(金)
子どもから
どう話を聴くか講師 仲 真紀子
立命館大学
総合心理学部教授

第1回は本コースの展望を得るために、簡単に、子どもから大人への発達の全体像をお示しします。そして、私の専門分野についてお話しします。私は、いじめや虐待にあった子どもからどう話を聴くか、という研究をしています。オープンに、誘導なく、相手の話をよく聴くという方法は、いろいろな場面で活かれます。親子、ご夫婦、ご家族での会話、コミュニケーションに活かしていただけたら幸いです。

【講師略歴】北海道大学教授を経て現職。北海道大学名誉教授。博士(学術)。専門は発達心理学、認知心理学。被害が疑われる子どもから負担なく正確に話してもらう面接法(司法面接)の研究をしている。著書に「子どもへの司法面接」(有斐閣、2016年)、「法と倫理の心理学」(培風館、2011)、「子どもの発達心理学」(北大路書房、2005)など。

初回
無料

第2回

8月29日(木)
青年期の問題解決を
うまく支える方法講師 山本 博樹
立命館大学 総合心理学部教授

人は青年期を経て大人になります。あの疾風怒濤の時期を振り返り、青年期に特有の考え方はどのようなものかを発達理論をベースに考えたいと思います。特にこの時期は答えのない問題に出遇い苦悩しますが、周囲はいかに支援すればよいのでしょうか。後方支援に徹せざるを得ない親のあり方についても考えてみます。

【講師略歴】学校心理士のスーパーバイザーをしています。この傍らで日本教育心理学会や日本心理学会の理事・代議員を務めてきました。私の関心は常に学習面のつまずきとその支援にあり、現在は、児童・生徒のパーソンセンターな視点から彼らの理解を支援する説明のあり方を探り、訴える活動をしています。



第3回

9月24日(火)
少年非行から見た
子どもと家族講師 廣井 亮一
立命館大学 総合心理学部教授

数千例の非行臨床と家族臨床からすれば、子どもの問題行動(特に非行)≒家族の問題といっても過言ではありません。その実践をもとに、非行を起こさない、非行を起こしたときの親の関わり方、家族のあり方、また、子どもの攻撃的なエネルギーをよい方向に伸ばすか、歪ませるか、その関わり方のポイントなどを解説します。

【講師略歴】家庭裁判所調査官として少年事件と家事事件に18年間携わる。専門は「司法臨床」。和歌山大学助教授、京都女子大学准教授を経て現職。博士(学術、大阪市立大学)。主要著書として『心理師・援助職のための法と臨床』(有斐閣、2019)、『家裁調査官が見た現代の非行と家族』(創元社、2015)、『司法臨床入門』(日本評論社、2012)など。



第4回

10月16日(水)
子離れできない
大人たち講師 森岡 正芳
立命館大学 総合心理学部教授

親離れ子離れはどちらか一方が他方から離れる、突き放すという意味合いが付きまといます。しかしそうではありません。親子関係を作り直すことです。作り直しが可能になるためには、それまでの親子の絆が十分に確められることが必要です。十分に甘えることで離れられるのです。依存と自立は相反することではないということをご具体例を通して確かめてみましょう。

【講師略歴】奈良女子大学教授、神戸大学大学院教授を経て現職。臨床心理士。博士(教育学)ナラティヴ(物語・語り)という観点から、トラウマのケアや心身相関、家族関係、文化と癒しという問題に取り組む、心理療法の共通基盤を探索している。著書に『うつし臨床の詩学』(みすず書房、2005)、『臨床ナラティヴアプローチ』(ミネルヴァ書房、2015編著)、『物語としての面接』(新曜社、新装版2017)他



